

後世に受け継がれる地元の味

◎三島小学校食文化普及講座

会員とともに「きじ飯」を調理



1月23日、三島小学校で、「食文化普及講座」が行われました。地元の食文化を伝えるために、鬼北町生活研究協議会が各学校で実施している当講座。今回は、三島小学校5・6年生を対象に行われました。

この日は、鬼北町の特産品である「きじ」を使った料理に挑戦。きじの鶏ガラで出汁をとったお吸い物、その身を使ったきじ飯など、さまざまな調理方法できじを味わいました。また、里芋の一種である「媛かぐや」を使った煮物にも挑戦し、子どもたちは自分たちで調理する喜びを感じながら、鬼北ならではの味を堪能していました。

新春を飾る真剣勝負の対局

◎第51回新春囲碁将棋大会

囲碁盤を睨み、次の一手を考える参加者



「第51回新春囲碁将棋大会」は1月8日、日吉住民センターで開催されました。

新春恒例のこの大会には、町内外から21人が参加。参加者たちは、囲碁の部と将棋の部に分かれ、それぞれ白熱した戦いを繰り広げました。また、大会終了後には、懇親会が行われ、対局の話題に花を咲かせ、交流の輪を広げていました。

主な結果は次の通りです。

【囲碁の部A級】①高橋宥（五月会）②糟谷昌宏（五月会）

【囲碁の部B級】①森中正道（五月会）②長橋増良（城川囲碁会）

【将棋の部】①松瀬一彦②森牧男

災害で亡くなる命を減らしたい

◎トリアージ講習会

真剣な様子で話を聴く参加者たち



2月1日、広見保健センターで、鬼北消防署の職員を講師に迎え、庁内の保健師、看護師やケアマネジャーなどの専門職員、災害マニュアル作成委員や女性消防団員などを対象に、トリアージの講習会が行われました。

「トリアージ」とは、大災害などで、同時に多数の患者が出たときに、手当の緊急度に従って優先順位をつけること。この日は、患者の脈拍・呼吸・血圧・体温などから判断する「START式トリアージ」について学びました。

参加者たちは、いざというときに備え、時折メモを取りながら、熱心に耳を傾けていました。

アルミ缶で循環型社会を構築

◎第18回環境美化教育優良校等表彰伝達式

主催者から広見中学校に表彰状の授与



公益社団法人食品容器環境美化協会が実施する「第18回環境美化教育優良校等表彰事業」で、当町の広見中学校が優良校として協会の会長賞を受賞し、1月28日、広見中学校で伝達式が行われました。

広見中学校では、平成9年度からアルミ缶回収を実施。翌年からは、収益金で地域の福祉施設に車いす等を寄贈しています。また、その活動は地域にも浸透し、地域住民のリサイクル意識向上にも寄与しています。

生徒を代表し賞状を受け取った武田大輝さんは、「今回の受賞を励みに、継続していきたい」と、さらなる意欲をみせていました。